

町の人口
世帯数 1,594
人口 6,978
人口 { 男 3,410
女 3,568

広報かわぐち

No.28
発行人 川口町公民館長 保科 清
編集人 桜井 兵治



郷土の古跡めぐり

小高の薬師さまと六地藏さま



二市三郡陸上選手権大会

十月五日、十日町高校に於いて行なわれました二市三郡陸上選手権大会の結果は次のとおりです。

- 中学男子一〇〇M 一位 仲野水則 十二秒〇
- 中学女子八〇〇M 一位 宮 光代 三分五秒六
- 一般男子五〇〇〇M 一位 大淵正博 十八分七秒三
- 一般男子砲丸投 二位 山田英夫 九M四三

町民卓球大会の結果

十月十日、福祉センターに於いて町民卓球大会が行なわれました。結果は次のとおりです。

- 地区対抗団体戦
 - 一位 東部地区館
 - 二位 西川口地区館
 - 三位 田麦山地区館

| | | | | | | |
|----|----|-------|----|-------|----|-------|
| 中学 | 一位 | 星野栄市 | 二位 | 星野 良治 | 三位 | 星野 栄治 |
| 男子 | 一位 | 大淵弘子 | 二位 | 渡辺美津子 | 三位 | 黒島久美子 |
| 女子 | 一位 | 関野光晴 | 二位 | 山田 功 | 三位 | 中 林 浩 |
| 男子 | 一位 | 山田忠美子 | 二位 | 日黒 晴美 | 三位 | |
| 女子 | 一位 | 桜井玲子 | 二位 | | 三位 | |

野球協会会長杯争奪戦

十月二十六日行なわれました野球協会会長杯大会の結果は次のとおりです。

体育協会のうき



国体に二選手出場

第三十回秋季国体が十月二十六日、二十九日、三重県にて行なわれました。川口町体育協会では町

川上新一君 から新潟県代表に選ばれた体操の川上新一君(小出高校三年)陸上の中林左知男君(小千谷高校二年)の壮行会を十月二十一日行ないました。大会の結果は川上君の団体戦四位

田麦山クラブが二位躍進

十月十九日第十六回小千谷川口駅伝が行なわれました。例年十七号線から川口入りしましたが今年度は交通事情の関係から全面コースを変更し市民体育館―池ヶ原―細島を通り西倉橋を経由して川口小学校で折り返えしレースを行ないました。川口からは三チームが参加し、結果は次の通りでした。なお西倉の方々から大勢の応援をいただきました。

- 中学の部 五位 川口中学校
- 一般の部 二位 田麦山クラブ
- 区間賞 二位 内山誠一(田麦山)
- 四位 川口陸協
- 四区 山吉朝彦(川口)

町陸上選手権大会

- 最優秀選手賞 仲野水則(川口中三年)
- 優秀選手賞 木村 進(東 部)
- 宮 光代(川口中三年)
- 森山好一(田 麦 山)
- 山田晴寿(川口中三年)

議会報編集室から

十一月十日発行の議会報五ページの記事中、し尿処理場の位置が牛カ島地内の桑巻とあるは、同地内「鷲巣」のあやまりでした。訂正しておわびいたします。

広報メモ

▽広報かわぐちへの投稿をお待しています。町民の声、地域のできごと……何でも結構です。町公民館(福祉センター内)までどうぞ。
▽十一月九日福祉センターで婦人集会が行なわれました。

町政功労者表彰

昭和五十年度川口町町政功労者の表彰が、文化の日の十一月三日川口町役場議場において、表彰状が、星野町長から町政功労者各位に、授与されました。

この表彰は、昨年制定した川口町褒賞条例に基づいて、多年に渡り、町政に尽力されたかたがたに毎年菊花賞文化の日に、表彰するもので、本年は、第二回目にあたりです。

表彰を受けたかたがたは、次のかたがたです。

▽選挙管理委員会委員 永年功労功労者 大淵有澄氏

町選挙管理委員会委員に、昭和三十三年就任以来連続五期十七年以上の長い間委員を勤められ、このうち昭和四十二年からは、委員長として、選挙管理執行に尽くされた功績。

▽固定資産評価審査委員会委員 永年功労者 佐次 晋氏

町固定資産評価審査委員会委員に、昭和三十四年就任以来連続五期十五年以上の長い間、税務行政に尽くされた功績。

▽町職員 永年功労者 関 ユリ氏

町職員として昭和二十五年に就職以来二十五年という長い間、保健婦として、町民の健康管理と、衛生思想普及に尽くされた。

文化の日 役場議場で

放追運酒飲 100日運動

11月11日←→2月18日

この間の飲酒運転違反者については「広報かわぐち」にて公表します。

飲酒運転しないさせない新潟県

創立五十周年のよわいを迎え 更に発展を 泉水小学校

大正十五年三月三十一日、相川、牛カ島南校を統一、泉水尋常小学校として開校してから五十年。去る十月十五日、同校ではこれを記念して盛大な式典が行なわれた。

同校は、統一開校の歴史も古く旧相川校は明治七年八月に、牛カ島校は明治十一年八月にそれぞれ開校され、更に統一されてから現在に至るまで政治・経済のあらゆ



る変動の中を教育の殿堂としてその道ひとすじに着実な歩みを進めてきたもの。

この間には、数多くの卒業生が同校を巣立ち、母校に見守られながら、名に恥じまいと堅実な努力を続け

に具体的に定めています。

☆法定相続人とは！

民法に規定されている相続人のことをいい、あらまは次のとおりです。

①死亡した人の配偶者は、常に相続人となります。

②死亡した人の子。

③子がいないときは父母。

④父母もいないときは兄弟姉妹。

なお、子や兄弟姉妹が死亡している場合でもその人の子が、その地位を継いで相続人となります。

☆法定相続分とは！

民法で定められている次の割合をいいます。

①相続人が配偶者と子の場合は配偶者三分の一、子は二分の一

②配偶者と父母の場合は、それぞれ二分の一

「妻の座」を優遇する相続税

郵便貯金で過去十年間に預け入れや、払いもどしなどがなかったため無効になったものは、全国で百四十五万件、約九億円もあります。その中には六十三円の元金がなんと一万一千九百六十七円と百九十倍になっている貯金があるそうです。無効にしてしまつては惜しい話ですが、貯金も相続財産のひとつです。

そこで今回は相続税について説明してみましよう。

☆どのくらいの財産から課税になるのか？

相続税は相続や遺言によって財産をもらった人に課税される税金で、死亡した人がもっていたはず

の財産が対象となります。

相続税は正味の財産が一定の控除額を超えている場合に課税となり、その額は二千万円と、四百万円に法定相続人の数をかけた金額との合計額です。

例えば、相続人が妻と子供四人の場合、普通四千万円までの財産には相続税が課税になりません。また妻が正味の財産の三分の一か四千万円のとちから多い方までの財産を取得したときは妻に対しては相続税がかからず、他の相続人より優遇されています。

☆財産の評価方法は

死亡した日の時価により評価し土地、家屋、株式などの種類ごと

る変動の中を教育の殿堂としてその道ひとすじに着実な歩みを進めてきたもの。

この間には、数多くの卒業生が同校を巣立ち、母校に見守られながら、名に恥じまいと堅実な努力を続け

に具体的に定めています。

☆法定相続人とは！

民法に規定されている相続人のことをいい、あらまは次のとおりです。

①死亡した人の配偶者は、常に相続人となります。

②死亡した人の子。

③子がいないときは父母。

④父母もいないときは兄弟姉妹。

なお、子や兄弟姉妹が死亡している場合でもその人の子が、その地位を継いで相続人となります。

☆法定相続分とは！

民法で定められている次の割合をいいます。

①相続人が配偶者と子の場合は配偶者三分の一、子は二分の一

②配偶者と父母の場合は、それぞれ二分の一

ている。

式典には、町長・議会議長ほか関係者をはじめ、旧職員・校区民多数が参加、校歌もあらたな顔におさまった前で五十年の意義深い感慨のうすうすが式場を流れた。

参列した子どもたちも、この式典の意義を校長先生ほか来賓のお話で更に身にしみて感じた様子がその目からもくもくとれた。

歴史と伝統を守りながら、更に進展へと願うこの式典の意義は深く、同校の発展を心から祈りた

むだはぶき貯蓄の心が実を結ぶ 川口町貯蓄推進委員会

刀匠昭孝・かじ福さんを偲ぶ

川口町文化財調査審議委員 星野高慶

わが昭孝(あきたか)は、若くして天下にその名を高鳴らした。天分にめぐまれた刀匠であった。昭孝がどのような動機で刀剣をつくる仕事を志向したのか、全くわからないが、昭和二十年発行の「聖代刀匠番付」に、昭孝の名がのっている。しかも上位にランクされている。又雄山閣発行の日本刀銘鑑にも、現代刀工の部に、昭孝は国の受命刀工と誌されてある。受命刀工というのは、刀工として国に登録され、玉はがね等の原料の配給を受けた特別の資格者のことである。

刀展が開かれている。さきにつれた聖代刀匠番付表のランクづけを、裏付けする資料がある。毎年出品を続けている文部省後援の新作展覧会に、昭和十七

あったから、その将来が大いに注目されたわけである。

昭孝の師は塩沢の貞清であった。昭孝ははじめに貞宗と名のつた。師の貞清から貰った名であろうか。後年には昭弘と称している。

昭孝は、戦後はあまり刀のこと語りながらなかったというが、ことしの四月、病のため六十五才で世を去ってしまった。なくなつたあとで、アラミのままの短刀と刀が出て来た。刀は姿のよろしい二尺五寸もある大身のものであったが、二つに折られていた。短刀には、

裏に昭和二十七年八月吉日 和記念) 表に越後住昭弘(講和記念)と銘がきつてある。講和記念と称して全 国著名刀工が協力して、 三百本の刀剣を製作した。陛下をはじめ、官 幣大社等の神社、講和 会議の全権、マッカーサー元帥等に、奉納又は贈るためである。

選ばれた百人の刀匠たちが、どんなおもいで、どんな悲願をこめて、熱い玉はがねの火花をとばしたものであろうか。発見された昭孝刀の二振りには、そのときの影打ちであるとおもう。そして昭孝は

吉さんからは舟曳きの肩あてなど、 珍らしい民具が出品されました。 菊花では五十九点の出品があり、 活花では今年始めて西川口婦人会 の出品でにきわみました。小中学 生及び保育所児童の作品も展示され 創造性・豊かな多くの作品に接 することができました。

なお芸能まつりで出演されたコーラスグループ・保母愛唱会のみ なさん・トロンボーンを演奏された相川青年会の方など、今後とも 音楽を含めて一層川口町の文化の 発展を祈らずにはおれませぬ。

また、川岸町の新宮蔵一さんからは、拓本の出品をいただき、同時に拓本のとり方や道具など、よい拓本のとり方の秘訣を公開いただきました。

町民総合文化祭終る



S17年特選刀を旧川合神社の神様にいただいた時の記念写真 前列から二番目が故中林福太郎さん(中林宗衛氏蔵)

十一月二日から三日にかけて町総合文化祭が行なわれました。二日の午後から川口中学校にて芸能まつりが行なわれ、三十のプログラム他、四つの飛び入りを加え盛会の内に終了しました。中でも和南津地区館の民謡、喜多村苑さんの鮮やかな奇術などに盛大な拍手が送られました。現川口中学校では最後の芸能まつり、司会の東部金山地区館長も川口中学校の沿革などを紹介しました。

●文化祭の出品については今年 は彫刻、工芸なども加え絵画・写真・書などが出品され、中でも小野田さん帰還の16点の写真を木村直治さんから出品いただきました。民俗資料では中村宗衛さんから陣笠、馬上提ちん、八郎場の小林清

ないでくれたら、あるいは、人間 国宝になつていたかも知れない。 と私は思うのである。それほど若き日の彼は、大きな宿望を背負っていたのである。

昭孝刀のすぐれた作品は、川口町の指定文化財の有候補である筈である。御所持の方は町の文化財調査審議会まで、お知らせ頂ければ幸いです。

むだはぶき貯蓄の心が実を結ぶ 川口町貯蓄推進委員会